

高知県から得られたコマハゼ

齊藤洪成¹¹ 東京海洋大学魚類行動生態学研究室写真1 *Inu koma* コマハゼ (A : KAUM-I. 177156, 生時 ; B : KAUM-I. 177158, 生鮮時)

種の記録

Oxudercidae オクスデルケス科

Inu koma Snyder, 1901

コマハゼ(写真1)

標本 鹿児島大学総合研究博物館魚類標本(3 個体, 標本番号 KAUM-I. 177156, 177157, 177158)

採集年月日および採集場所: KAUM-I.177157, 2020年3月29日, 高知県幡多郡黒潮町伊の岬. KAUM-I.177156, 2020年4月26日, 高知県高岡郡中土佐町大野. KAUM-I.177158, 2020年6月6日, 高知県高岡郡中土佐町矢井賀川河口. 採集方法: はし. 全長 32.6–34.4 mm, 標準体長 28.0–29.6 mm

種の特徴

同定は渋川ほか(2020)に従った. 背鰭条数 I, 9–10, 臀鰭条数 I, 10, 胸鰭条数 17–19. 眼下にヒゲ状突起を持たない. 頰の皮蓋の先端部は側面から見て前方に突出する. 被鱗域は背鰭基底部付近から後方に限られる. 生時および生鮮時, 色彩は体の大部分でブラウン系. 一部の個体は頭部, 体部の側面および背面に黒色の縁取りを持つ淡色の小斑が散在する. 尾鰭基部の暗色横帯は明瞭で幅狭い.

備考

本種の分布はこれまでに福島県から宮崎県にかけて

の太平洋沿岸から不連続に記録されており(渋川ほか, 2020; 是枝・本村, 2022), 渋川ほか(2020)が再同定の必要性を指摘する記録が青森県から九州にかけての太平洋・日本海沿岸各地から報告されている. 今回新たに, 本種が高知県の土佐湾沿岸に分布することが確認された.

本報告で用いた標本は, 岩礁や消波ブロックの周辺にて, 干潮時, 潮間帯下部の礫堆積を掘り起こすことで採集された.

引用文献

是枝伶旺・本村浩之. 2022. 宮崎県から得られたコマハゼとクロコマハゼ南限記録. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 20: 13–25.渋川浩一・藍澤正宏・鈴木寿之. 2020. *Inu Snyder*, 1909 とは何か? —コマハゼ属の再定義および関係する砂礫間隙性ハゼ類の放散に関する考察. *東海自然誌*, 13: 79–116.

(2022年12月1日受理, 2022年12月2日公開)

連絡先: 齊藤洪成 (e-mail: r181026@edu.kaiyodai.ac.jp)

(Hironari Saito. 2022. Record of *Inu koma* Snyder, 1901 from Kochi Prefecture, Shikoku, Japan. NS Fieldnote, 22019)